

広報

かわごえ環境ネット

2026年3・4月号 No.208



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

入間川にかかる雁見橋からの風景です。春には土手が菜の花・セイヨウカラシナに覆われ、独特のよい香りが漂います。ハチの仲間も忙しく飛び回ります。土手の上には桜が咲き誇り、黄色とピンクの共演が見事です。土手上は緑地になっていて東屋もあり、のんびり花見ができます。サイクリングロードの方も一時、見とれて停車します。
(賀登環)

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2:【報告】 歳末まち美化活動 (12月21日)
- 3:【報告】 環境対話カフェ「まちと環境の軽やかな動かし方を考えよう」(2月11日)
- 【予告】 【後援】アースデイ川越 in 昭和の街 2026「2050年のミライを創る」(3月7日開催)
- 4:【コラム】 社会と環境について思うこと (38) 川越のみらいを耕す！環境にやさしいお米づくりの挑戦
自然を訪ねて (26)「川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング」の発刊に際して
- 5:【予告】 春の里山 自然観察&クリーン活動 (4月25日 土曜日実施)
会員向け情報 (理事立候補者募集、会費納入のお願い、総会開催)
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ／会員及び一般参加者を募集する行事・活動
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー (3月1日～4月30日) ／ポタニカルアート (18) ヒトリシズカ

残したい川越の風景 (26) 入間川雁見橋付近の菜の花と桜 (2025年4月12日撮影)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【報告】歳末まち美化活動（12月21日）

12月21日（日）に、43名のみなさんと歳末まち美化活動を実施しました。例年晴天に恵まれている歳末まち美化活動ですが、今回は珍しく雨が降りそうな曇り空。でも解散する昼近くには日差しもこぼれ、冬とは思えない暖かさにも恵まれました。

開催経過

9:30に本川越駅交番付近に集合した参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスとその関係会社の方々など5歳～70歳代と幅広い年齢層でした。小瀬理事長の挨拶の後5つのコースに分かれ、まち美化活動を開始。収集したごみは、ゴールとなる中央公民館

で分別し11:30に解散しました。ゴールの中央公民館に一番乗りしたのは、お父さんと参加した男の子たちでした。「1番だ!」と言って姿をあらわしたその笑顔がうれしかったです。参加いただいたみなさま、まち美化にご協力ありがとうございました。

（飯島希）



開始時の参加者集合写真



コースマップ
(地理院タイルを使用)



Aコースのみなさん



Bコースのみなさん



Cコースのみなさん



Dコースのみなさん



ごみ拾いの様子



Eコースのみなさん



分別したごみの前でスタッフ一同

【報告】環境対話カフェ「まちと環境の軽やかな動かし方を考えよう」(2月11日)

2月11日(水) 11:00-13:00、さまざまな人とコトがつながっていく空間として構想されたゲストハウス「Chabudai(ちゃぶだい)」にて、「環境対話カフェーまちと環境の軽やかな動かし方を考えよう」を実施しました。参加者は20名、スタッフは3名でした。

実施結果

今回は「まちと環境の軽やかな動かし方を考えよう」というタイトルのもと、Chabudaiの企画・運営者である西村拓也さんをゲストに迎えて、かわごえ環境ネット増田知久副理事長とクロストークを実施しました。ファシリテーターは川越市、霞ヶ関北地域の場づくりmibunkaの吉田尚平さんをお願いしました。

まずはお二人の自己紹介から始まりました。増田副理事長から、学生時代から海外での経験、かわごえ環境ネットに入り、お米農家になるまでの経緯が話されました。西村さんからは学生時代、サラリーマン時代を経てフリーランスとなり、川越市主催のまちづくりキャンプ

から始まったゲストハウス「Chabudai」開業、その後もさまざまな事業、取り組みを行っていることが話されました。お二人の自己紹介の後にはファシリテーターの吉田さんが質問を投げかけた後、小休憩となりました。

休憩の後にはファシリテーター吉田さんがお二人に質問を投げかけてから始まるクロストークです。後半の大きなテーマは『公共』でした。民間から見た「公共」の可能性と限界、行政と関わる立場から見た「公共」というところから対話がなされました。また、何か活動を行う際にはコアで事務作業を行う人材が必要であり、「軽やかな活動」の裏側に必ず地味で面白味のない事務作業があり、その担い手を確保する難しさがあるということが、今回の対話から生まれた「軽やかさ」の着地点でした。事務作業の先にある「軽やかな活動」をイメージできると面白味のない事務作業もやろうという気になる、という西村さんの言葉が、一つの「軽やかさ」のヒントなのかもしれないと感じました。最

後に会場からの質疑応答の時間を設け、終了となりました。

参加者からは、幅広い観点からの話が聴けて勉強になった、などの感想をいただきました。また、参加者同士の交流がもっと欲しかったなと思いましたが、その意見もいただき、今後に活かしていきたいです。

今後の予定

2025年度の環境対話カフェはこれで最後となります。2026年度も継続して行い、さまざまな方々と「環境」について対話していく予定です。

(小川夕子)



会場の様子

【予告・後援】アースデイ川越 in 昭和の街 2026「2050年のミライを創る」(3月7日(土)開催)



第27回

アースデイ川越 in 昭和の街 2026

テーマ: 2050年のミライを創る

2026年3月7日(土) 10:30-15:30

会場 川越昭和の街 れんげい寺
主催 第27回アースデイ川越実行委員会
問い合わせ先 earthdaykawago@googlegroups.com
詳細 http://showanomachi.net/earthday



27回目の「アースデイ川越 in 昭和の街」は「2050年のミライを創る」をテーマに、子どもから大人までどなたでも楽しめるイベントです。イベントの内容・時間は変更の可能性があります。最新情報及び詳細は Web をご覧ください。

<http://showanomachi.net/earthday/>

開催概要

日時: 3月7日(土) 10:30-15:30

(少雨決行、荒天中止)

場所: 蓮馨寺(川越市連雀町7-1)

協賛: 川越名店街、協力: 蓮馨寺、NPO

法人日本アメニティ研究所、後援: 川越市、川越市教育委員会、かわごえ環境ネット

ステージ

10:30-11:00 開会式・オープニングヨガイベント (mayumi)

11:00-12:00 参加団体/中高生発表等

12:00-13:00 【ライブ】たかはしべんステージ (演奏約30分)

13:00-14:00 「川柳コンテスト」表彰等

14:00-15:00 【ライブ】霞人まつり(ネモトカナ&こども合唱団等) (演奏約30分)

15:00 (鐘つき後) 閉会式

ワークショップ・展示

①笑足屋、川越わらじクラブ「リサイクル布ぞうりの展示とわらじチャーム作り、

② Re New M/1 型糖尿病&インスリンレンズの会「糖尿病について話せる・楽しむ、体験ゲーム・服チャーム販売」、

③生活クラブ生協 川越支部「こねこね石鱈づくり」、

④川越ワイズメンズクラブ&埼玉 YMCA「チャリティ販売と子どもの遊び」、

⑤モンゴリアンダイナマイト「エコロジーな素材を使用したボードゲーム」、

⑥悟水晴-Gosusei-(霞人まつり)「あな

たの舞台にボディペイントで華を添えます。」、⑦ COFFEE ITS「珈琲の再利用で珈琲アートを楽しもう!」、⑧東洋大学SDGsアンバサダー(川越キャンパス)「何のゴミ?ゲーム」、⑨ NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ&第一学院高校川越キャンパス「環境に優しい農のめぐみ&無農薬野菜栽培による学び」、⑩インカレSDGsプロジェクト「SDGs すごろく」、⑪かわごえ環境ネット「環境にやさしい MONO 作り」、⑫埼玉県水環境課「埼玉県の河川の生き物(魚類)調査/プラスチックごみ調査」、⑬ NPO 法人日本アメニティ研究所&東洋大学地域活性化研究所「『昭和の街』まちあるきツアー」

フード&カフェ

①ストロベリーフィールズ、②フクフクスタンド、③トシノコーヒー

スタンプラリー(エコマネー配布)

ワークショップ・展示を回って、会場内のフード&カフェや会場周辺の「昭和の街」で使えるエコマネー「アース」をゲットしよう。アースデイ川越



社会と環境について思うこと (38) 川越のみらいを耕す！環境にやさしいお米づくりの挑戦

川越の地で環境に配慮したお米づくりを始めて、今年で6年目を迎える。当初は「家族や友人に自分が納得できる安全で美味しいお米を届けたい」という思いからのスタートだった。しかし、徐々に米づくりにのめり込んでいき、今期は2.5ヘクタールの作付けを予定している。川越市の稲作農家の平均面積が1.5ヘクタール程度であることを考えると、笠幡地域の中でも一定の役割を担う規模へと成長してきただろう。

米づくりのモチベーションは、自分を育ててくれたこのまちへの「恩返し」の気持ちだ。しかし、規模が拡大するにつれ、農とふれあう喜びと同時にこのまちの農業が直面する厳しさも感じるようになった。農家減少と高齢化、そして耕作放棄地の増加だ。効率化を求めた「農地の集約化」は地権者の多さなどでなかなか進まないのが現状だ。川越は、都市と農業が隣り合

せで共存するまちだ。市域の約30%を占める農地は、単なる生産の場ではない。雨水を蓄え都市を潤し、多様な生態系を守り、市民が食と関係性を結ぶコミュニティの場にもなる。

農薬や化学肥料をなるべく使用しない「循環型農業」は、その恩恵を最大化させる鍵となるが、一人でできることには限界がある。だからこそ、自分がこのまちで環境配慮型農業の成功モデルを提示したいと考えている。この挑戦を通じて「同じ志を持つ同士」が集まる土壌を作ることだ。一人では維持が困難な農地も、環境への想いを共有する農家と市民たちが手を取り合い、連帯することで、次世代に誇れる形で守り抜くことができるはずだ。

農地は一度荒れてしまえば、元の豊かな姿に戻すには膨大な時間がかかる。手遅れになる前に、環境を軸とした新しい農業の形をここ川越から発信したい。生きものたちあふれる田んぼ

が、未来の子供たちにとっても当たり前の原風景となるように。これからもこのまちの未来を耕し続けていきたい。(増田知久)



自然を訪ねて (26)「川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング」の発刊に際して

川越は首都圏にありながら、ほどほど自然が楽しめる場所です。ダイナミックな自然はありませんが、少し歩けば田や畑、川、雑木林、社寺林などがあります。目を上に向ければ空を飛ぶ野鳥、下に向ければ野草や樹木があります。目が次第に慣れてくるとただの鳥、ただの草でなくなります。川沿いを散歩していると100種近くの動植物に出会えます。晩秋にサクラタデの群生を見つけた時は感動ものでした。

かわごえ環境ネット自然環境部会は、2000(平成12)年の発足当時から川越に残るさまざまな自然を訪ね、調査し、可能

なところでは保全再生活動をしてきました。市に生き物調査の提案をし、2017年からは環境基本計画に基づいて市が「かわごえ生き物調査」を始めることになりました。市の方で一般市民の調査員を募り、本会も協力して多くのデータが集積されてきました。

ここで2017年から2025年までを一区切りとしてデータをまとめることにしました。川越にどのような生き物がいて、絶滅危惧種や外来種の状況はどうか、このようなことを市民に公開するのは大切で必要なことと思われま

す。データを提供していただき自然環境部会でまとめ、分析をし、このたび、冊子「川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング」として発刊いたします。データの一覧だけでなく、生き物探しのガイドブックになるよう、入間川、小畔川、新河岸川などの流域ごとや田んぼ、樹林なども含め自然スポットを紹介しています。A4オールカラー80ページの冊子です。かわごえ環境フォーラムで頒布開始です。みみまサウルス企画事務所様より助成金をいただき無料頒布することができます。深く御礼申し上げます。(自然環境部会 賀登環)

【参加者募集】春の里山 自然観察&クリーン活動 (4月25日 土曜日実施)

春の里山 自然観察&クリーン活動

場所 (仮称) 川越市森林公園計画地
参加者募集

かわごえ環境ネットは里山保全やクリーン活動(年2回)などの環境保全活動を行っております。
4月は「(仮称)川越市森林公園」計画地にて、春の里山 自然観察&クリーン活動を行います。
川越に残された貴重な里山を保全し、里山の新緑を分かち合う活動です。
多くの方のご参加をお待ちしております。



自然観察



活動の成果



頒布中

日時 2026年 4月25日 (土) 9時30分

川越南文化会館 (ジョイフル) エントランス 集合

9時30分 集合 コース案内、ゴミ袋配布
9時45分 公園計画地の自然観察とクリーン活動
11時30分 ジョイフル集合場所まで分別 参加証明書交付
12時 解散

参加申込 募集人員 先着30名 参加費無料

申し込み 4月1日 (水) 午前10時から 電話で環境政策課 ☎ 049-224-5866

当日の連絡先 横山三枝子 携帯 080-5087-9398
賀登 環 携帯 080-1158-9673

軍手など作業用手袋をお持ちください



公園計画地について

所在地 川越市大字砂新田・今福・下松原
面積 約38万㎡ ※東京ドーム約8個分
計画趣旨 川越市は2004年に「雑木林の自然と文化をみんなで育み伝える公園」として公有地化と整備開始



クワミズサクラ

キンラン



かわごえ環境ネット

事務局 川越市環境部環境政策課
☎ 049-224-5866 (直通)

かわごえ環境ネットは、里山保全やクリーン活動(年2回)などの環境保全活動を行っております。4月は(仮称)川越市森林公園計画地にて、春の里山自然観察&クリーン活動を行います。川越に残された貴重な里山を保全し、里山の新緑を分かち合う活動です。多くの方のご参加をお待ちしております。

実施概要

日時: 4月25日 (土) 9:30-12:00

集合場所: 川越南文化会館 (ジョイフル) エントランス前

募集人員: 先着30名 (参加費無料)

参加申込

4月1日 (水) 10:00 から電話で環境政策課 (Tel.049-224-5866)

*軍手など作業用手袋をお持ちください。



2025年の自然観察&クリーン活動の様子

会員向け情報 (理事立候補者募集、会費納入のお願い、総会開催)

ここに書かれている情報は新年度になってから案内すべきものですが、隔月刊の広報のため、早めにお知らせします。

2026~2028 理事立候補者募集

2026年度は本会役員改選の年です。かわごえ環境ネットの将来を考え、運営に携わる理事への立候補者を募集します。任期は2026年度総会開催日から2028年度総会開催日までの2年間で、個人会員と団体会員(事業所、民間団体及び行政)から募集します。

立候補される方は、本紙に同封またはメールサービスで送付される「かわごえ環境ネット理事立候補申込用紙」に必要事項を記入し、4月13日 (月) 必着

でかわごえ環境ネット事務局にご提出ください。

2026年度会費納入のお願い

個人会員の年会費を値上げし、個人会員、団体会員(民間団体、事業所、川越市)ともに2,000円となります。4月1日 (水) から5月29日 (金) までにゆうちょ銀行の口座に振込ください [口座番号 00180-2-13880 (ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行〇一九支店 当座 0013880), 加入者名: かわごえ環境ネット]。振込方法によっては手数料がかかります。

2026年度総会開催

5月30日 (土) 10:00-11:30 に川越

市立博物館視聴覚ホール (川越市郭町2-30-1) において2026年度総会を開催します。また、終了後に初雁公園において昼食会を実施します。

連絡方法が郵送のみの会員には、4月に会費納入の案内と出欠連絡用はがきを含めた情報を郵送でお送りします。メールサービスを利用している会員には、メールで振込先と出欠連絡用フォームの情報をお送りします。

「2026年度総会議案書」は、広報紙を郵送している会員には本紙2026年5・6月号 (No.209) とともに送付します。メールサービスを利用している会員には添付ファイルで送付します。

理事会・事業運営委員会

12月24日(水)

第24回かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」の申込期限延長を決定。昼にパイオニア(株)のサウンドスケープを実施依頼。2025年度に実施した全体事業は2026年度にも実施。3「かわごえの森であそぼう!」(11月29日)、「歳末まち美化活動」(12月21日)の反省。4「いろいろなNPOが集まるまちのソーシャル活動見本市 in 川越」(12月13日)の横山副理事長参加報告。

1月21日(水)

1冊子「川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング」の発行見通しと予算確認。2市外在住者の入会を承認。3第24回かわごえ環境フォーラム午後の部「講演&意見交換会」の実施方法を協議。「かわごえ環境活動報告集」の発行見通しの確認。行事終了後の懇親会は実施しない。42026年度総会候補日の設定。「総会議案書」策定スケジュールの確認。5役員改選の募集案内、応募期限の確認。監事候補者の検討。62026年度全体事業の開催候補日を決定。7自然環境部会の事業内容の報告。8市広報に代わる事業周知方法について検討継続。9個人1の退会・入会により1月21日現在の会員数は個人133、団体19、事業者25、行政1の計178会員 (理事長 小瀬博之)

会合

◆事業運営委員会 3月25日・4月15日(水) 9:00-10:00

◆理事会 3月25日・4月15日(水) 10:00-11:30

会場:3月はオーク2H₂会議室(川越

市郭町1-2-2)、4月は会場未定

社会環境部会

2025年度の社会環境部会の活動は、「環境対話カフェ」を3回実施、川越のまちでこれまで環境活動をしてきた人や市民団体、自治会などがより多くの人に会い、語り合う場をコーディネートしてきました。

2025 環境対話カフェ

- ・第1回(6月12日)自治会でできる環境活動
- ・第2回(11月22日)雨と緑を楽しむグリーンインフラ講座PART2
- ・第3回(2月11日)まちづくりと環境活動

現在、2026年の事業計画を検討していますので、かわごえ環境ネットの会員で社会環境部会として企画をしてみたいという方がいましたら、部会代表または事務局までご連絡ください。

(社会環境部会代表 増田知久)

自然環境部会

1月例会は9日(金)10名参加、2月例会は13日(金)5名参加。オーク2H₂会議室にて開催された。

活動報告

1「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動:1月12日(月)17名参加 農政課落ち葉掃きエリアの手入れ。1月26日(月)16名参加 希少種エリアの草刈り。2月9日(月)13名参加 積雪につきバードウォッチング。2池辺公園定例活動:2月10日(火)積雪につき活動休止。3ふるさとの緑の景観地:毎週火曜日に活動 伐採や植樹で自然再生。こどもヤマ守り活動はコナラの植樹をした。また森の資源を生かして工作な



2/9 川森 雪の中バードウォッチング としている。4「かわごえ里山イニシアチブ」農業ふれあいフェスタでマコモしめ縄づくりなど

協議事項

1来年度の行事予定を話し合い、川の調査を新たに位置づけることにする。2田んぼの生き物調査については無農薬田んぼで実施する。3「キノコの観察会」は森の劣化により来年度は中止する。代わりに研修会をする。4冊子「川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング」の校正を行った。

(自然環境部会代表 賀登環)

●自然環境部会(第2金曜日)

*会員であれば自由に参加できます

日時:3月13日・4月10日(金) 13:30-15:00 会場:3月はオーク2H₂会議室、4月は未定

広報委員会

2026年5・6月号(No.209, 5月1日発行) 投稿募集(会員対象)

投稿期限:4月3日(金)(今回から偶数月月上旬の金曜日としました)

投稿方法:関係者にメールで通知

◆広報委員会

立案・依頼 3月4日(水) 9:00-9:30、入稿確認 4月1日(水) 9:00-9:30 会場:オンライン(URLは委員に案内) 発送 4月22日(水) 11:00-12:00 会場:川越市役所5階フリースペース

★会員及び一般参加者を募集する行事・活動

(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動

(毎月第2・第4月曜日) 日時:3月9・23日, 4月13・27日(月) 9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル) 問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

池辺公園定例活動

(隔月第2火曜日) 日時:4月14日(火) 9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302) 問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

(仮称)川越市森林公園」計画地観察会

日時:3月28日(土) 9:30-12:00 場所:(仮称)川越市森林公園計画地 講師:牧野彰吾氏 環境政策課・自然環境部会共催 申込:3月2日(月) 10:00 から環境政策課(Tel.049-224-5866)

川越市環境計画見直し意見交換会

日時:4月22日(水) 9:00-11:00 場所:会場未定+オンライン 内容:「川越市環境行動計画」の作成 申込:直接会場、オンライン参加は要事前連絡

入会のご案内

本会では約180の団体・個人が参加し、かわごえの環境の環(わ)を「太く」「大きく」「さらにつなげる」さまざまな活動を行っています。本会に入会すると本紙を郵送またはメールサービスでお届けします。年会費は個人会員、団体会員ともに2,000円(3月の入会は2026年度からの会費請求)です。詳細はかわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるか Web サイトをご覧ください(右のQRコードからアクセス)。 入会案内



NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (hatsukarinosato@
googlegroups.com, 070-5599-2623)

近況報告

1月18日(日) 東部地域ふれあいセンターで開催された小江戸南古谷農園主催の「農業ふれあいフェスタ in 南古谷」にマコモ葉でしめ縄づくり体験で応援参加しました。初めてのイベントで農業者と大勢の市民や子どもたちがふれあう密度の濃いイベントでした。お餅つき体験は長蛇の列でした。このようなイベントを通して農業への理解や楽しさが伝わることを期待します。



しめ縄づくり体験



農業者と市民のふれあいの場が広がる

予告

3月7日(土) 10:30-15:30 のアースデイ川越 in 昭和の街で、探求学習で農業体験をしている第一学院高等学校川越キャンパスの生徒とコラボ出店で酒粕漬けなどの販売をします。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

Web <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (hkose@toyo.jp, 049-239-1532)

報告

1 1月10日(土) 2回目の毎木調査。胸高直径3cm以上の樹木の直径、樹種を特定して記録。3組12名の調査員で1,036本の樹木を確認。若い落葉樹は樹種の特定が難しい。バッファゾーンや未管理で残しているエリアは直径3~6cm程度の樹木が多数存在していても本数が増えている。**2** 2月7日(土) 3回目の毎木調査。3組10名の調査員で989本の樹木を確認。3回目の調査で2,997本まで到達。次回で調査完了見込み。2016年度調査では「こもれびの森」で3,815本の樹木が確認されていた。「こもれびの道」拡幅と「こもれびの森」内の新校舎開発により1haほど面積が減っているが、2015年の自然再生エリアで約1ha面積が増えており、調査完了時の本数は大きく変わっていない



1月10日の集合写真



アオハダは株立ちが多くて根気が必要



直径50cmはダイアメーターで計測

5-8 ページの記号凡例 ★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ○: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他 (個別記事参照)

いのではないかと思われる。

予告

◎ **里山林保全活動** ① **3月1日(日)** **8:30-16:00** ・ ② **4月11日(土)** **8:30-**

12:00 作業内容: 3月は毎木調査、4月は保全活動の予定 **場所:** 東洋大学川越キャンパス **定員:** 15名 (原則高校生以上、事前予約必要)

特設サイト <https://sites.google.com/toyo.jp/toyokomorebi>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野(049-222-1731, 当日 090-7003-8617)

予告

◎ **伊佐沼でバードウォッチング** (毎月第2日曜日) **集合:** 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止 **持ち物:** 筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物 **参加費:** 一般300円、高校生以下100円 (保険代・資料代)

① **3月8日(日) 10:10-12:00** 北の国へ帰る冬鳥たちの最後の姿をみんなで観察します。

② **4月12日(日) 10:10-12:00** 水を貯めた沼に鳥たちは戻って来ているでしょうか、魚や植物は変わりないでしょうか、春の生き物を調べましょう。

個人会員

松岡壽賀子さん (社会環境部会)

高階南公民館 (049-245-3581)

予告

◎ **かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** **会場:** 高階南公民館 (川越市藤原町23-7) コミュニティスペース **参加費:** 無料 **持ち物:** 直近2~3か月分の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。

参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。個々の取組が減災・防災につながります。

① **3月12日(木) 13:30-15:00** "命と暮らしを守るために" 環境について日頃感じていることをおしゃべりしましょう

② **4月22日(水) 10:00-11:30** "生活環境を考えよう" 医者の門をたたく前に、医者から学ぶ「医者いらず」・自然にかえる子育てで自然治癒力を(クスリや注射に安易に頼らない小児科医真弓定夫先生から直接教わったことをお伝えします。)

2026年3月

| |
|--|
| 1 日 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 |
| 2 月 |
| 3 火 |
| 4 水 ◆ 9:00 広報委員会 (立案・依頼) |
| 5 木 |
| 6 金 |
| 7 土 ★ 10:30【後援】アースデイ川越 in 昭和の街 2026 |
| 8 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング |
| 9 月 ★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動 |
| 10 火 |
| 11 水 |
| 12 木 ◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 |
| 13 金 ● 13:30 自然環境部会 |
| 14 土 |
| 15 日 |
| 16 月 |
| 17 火 |
| 18 水 |
| 19 木 |
| 20 金 春分の日 |
| 21 土 |
| 22 日 |
| 23 月 ★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動 |
| 24 火 |
| 25 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 |
| 26 木 |
| 27 金 |
| 28 土 ★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地 観察会 |
| 29 日 |
| 30 月 |
| 31 火 |

2026年4月

| |
|--|
| 1 水 ◆ 9:00 広報委員会 (入稿確認) ○ 10:00 「春の里山 自然観察 & クリーン活動」受付開始 ○ 2026 年度会費納入期間 (5月29日まで) |
| 2 木 |
| 3 金 ○ 本紙 2026年5・6月号 (No.209) 入稿期限 |
| 4 土 |
| 5 日 |
| 6 月 |
| 7 火 |
| 8 水 |
| 9 木 |
| 10 金 ● 13:30 自然環境部会 |
| 11 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 |
| 12 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング |
| 13 月 ★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動 ○ 理事立候補申込用紙提出締切 |
| 14 火 ★ 9:30 池辺公園定例活動 |
| 15 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 |
| 16 木 |
| 17 金 |
| 18 土 |
| 19 日 |
| 20 月 |
| 21 火 |
| 22 水 ★ 9:00 川越市環境計画見直し意見交換会 ○ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 ◆ 11:00 広報委員会 (発送) |
| 23 木 |
| 24 金 |
| 25 土 ★ 9:30 春の里山 自然観察 & クリーン活動 |
| 26 日 |
| 27 月 ★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動 |
| 28 火 |
| 29 水 昭和の日 |
| 30 木 |

インターネットアクセス (QR コード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



note



入会案内



かわごえ里山



こもれび隊



アースデイ川越

ボタニカルアート(18) ヒトリシズカ (発生: 3-4月)

白いブラシ状の花には素朴な美しさがあります。この植物には花びらもがくもありません。白い糸状のものはおしべです。しかも花粉はおしべの先ではなく根元にあるのも変わっています。ひと月後に咲く同じセンリョウ科のフタリシズカとともに、和名は源義経の愛した静御前の舞姿に見立てて名付けられました。(岡 治)



おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

広報 かわごえ環境ネット
2026年3・4月号
No.208

発行日: 2026年3月1日 (第2版) 編集・発行: かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局: 川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel:049-224-5866 (直通), Fax:049-225-9800, Email: kankyoseisaku ★ city.kawagoe.lg.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>
(メールを送信する際は、★を@に変換してください)